

小正月行事が市内各所で行われました。上条集落では、1月4日にオコヤタテ、14日にどんど焼きが行われました。

どんど焼きは、集落内の路傍に祀る道祖神の火祭りです。オコヤ(お小屋)や正月飾りを燃やし、その年の健康や農産物の豊作祈願をします。これに先立って、繭玉(団子)を木の枝に刺して家に飾り、当日どんど焼きの火で焼いた団子を食べると虫歯や病気にならないと言われています。また、書き初めを燃やし、その紙が高く上がれば上がるほど字が上手になるとも言われています。

オコヤタテ

1月4日(土)に上条集落の道祖神のオコヤタテが行われました。組の人が20人程集まり、午前8時から作業を始め、午後4時に完成しました。

まず、道祖神の土台の上に丸太で柱を立て、細木で枠組を作り、スギの枝葉で周りを覆います。スギの玉がある葉が良いそうです。並行して、藁を縛って縄・注連縄作りと屋根作りを行います。屋根は、竹の垂木で組み、縄で軒付けを取り付けます。次に、オコヤ本体に屋根を載せ、ヒノキの葉で葺きます。また、オコヤが大体になったところで、隠居部屋を本体の脇に作ります。隠居部屋を設けるのが上条の特徴です。最後に、スギの枝葉で鯨を飾り、オコヤの中に御幣を納めて完成です。上条のオコヤは金井加里神社を模したもので、とても優雅で立派です。

作業は担当を分けて行い、手際よくオコヤが建てられていきました。集落の皆さんの団結力と伝統技術を感じました。



どんど焼き と 第29回上条集落見学会

1月14日(火)に第29回上条集落見学会を開催しました。夕暮れの上条集落に、市内外から約10名の方にご参加いただきました。見学会では、今回の主役ともいえる道祖神場に建てられた「オコヤ」を見て、参加者の皆さまは感嘆の声を上げていました。見学会終了後には、どんど焼きにもご参加いただきました。当日は、風もなく炎が空高く上がり、皆で今年1年の無病息災を祈願しました。また、上条を活性化する会から甘酒やお漬物などが振舞われました。参加者の皆さまから「今年は良い年になるよ」「こんな楽しいどんど焼きは何年ぶりだろう」と感想をいただきました。

温かいおもてなしありがとうございました。



撮影スタッフへおもてなし

上条での「やすらぎの刻〜道」のドラマ撮影もいよいよ最後となりました。

1月23日(木)に、撮影スタッフへ寒い中での撮影と今までの労いの意を込め、上条組よりほうとうが振舞われました。心も身体も温まりました。上条での撮影は全部で15回程行われました。ドラマもいよいよ終盤。もう少しで終わると思うと寂しくなりますね。



福蔵院で年越し!

3年程前から地元の方が集まって、福蔵院で年越しをしています。今年は7名が集まりました。皆で除夜の鐘を順番に叩いた後、住職から新年のご挨拶をいただきました。甘酒の振舞いもありました。



センター試験に上条集落

1月18日(土)に行われた最後のセンター試験の地理の設問に、上条集落が出ました。

塩山神金地域の養蚕の伝統的家屋の特徴等、養蚕業についての出題で、「もしもしの家」の写真が載りました。